



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東  
 コード番号 1446 URL <https://www.candeal.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理管掌) (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)  
 定時株主総会開催予定日 2024年12月24日 配当支払開始予定日 2024年12月10日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	13,224	7.4	359	△20.6	350	△20.7	137	△38.6
2023年9月期	12,309	9.2	452	34.1	441	45.4	224	112.8

(注) 包括利益 2024年9月期 145百万円(△35.3%) 2023年9月期 224百万円(112.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	14.96	14.91	5.0	5.7	2.7
2023年9月期	24.45	24.37	8.6	7.0	3.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	6,134	2,799	45.6	303.42
2023年9月期	6,225	2,706	43.5	293.98

(参考) 自己資本 2024年9月期 2,799百万円 2023年9月期 2,706百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	377	△74	△303	1,616
2023年9月期	595	△41	△830	1,616

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00	55	24.5	2.1
2024年9月期	—	4.00	—	4.00	8.00	73	53.5	2.7
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00		43.4	

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	13,900	5.1	410	14.1	405	15.6	170	23.2	円 銭 18.42

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年9月期	10,734,200株	2023年9月期	10,734,200株
2024年9月期	1,507,300株	2023年9月期	1,529,100株
2024年9月期	9,218,680株	2023年9月期	9,185,869株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	1,103	△5.2	123	△42.8	112	△44.9	55	△53.9
2023年9月期	1,164	10.6	216	36.6	204	38.6	121	44.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年9月期	6.07		6.05					
2023年9月期	13.21		13.17					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年9月期	4,080		2,406		59.0	260.78		
2023年9月期	4,304		2,394		55.6	260.15		

(参考) 自己資本 2024年9月期 2,406百万円 2023年9月期 2,394百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(収益認識関係) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、最低賃金上昇や人手不足などの影響でさらに気運が高まっている賃上げをはじめとして、雇用環境・所得環境の改善が幅広い業界で見受けられ、継続的な物価上昇や前年を上回るインバウンド需要の拡大もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中小企業を中心に多くの企業においては、人件費や原材料価格などのコスト上昇が加速しているにも関わらず、売価をコスト上昇に見合う形で引き上げることが難しい状況に直面し、少しずつ進展は見られるものの未だ価格転嫁の進捗は芳しくない状況であり、厳しい経営環境下にあります。また、家計においては、長期にわたる実質賃金減少からの一時的な増加は見られたものの、物価上昇に起因する節約志向の影響で消費者マインドの改善には足踏みが見られ、先行き不透明な状況が続いております。加えて、今後の物価や外国為替市場の動向に影響を与え得る日米の金利差や中東情勢、中国経済などの動向にも引き続き注意する必要があります。

建設業界としては、慢性的な人手不足という課題に直面し、人員確保のため各企業で賃上げや福利厚生の実施など雇用環境改善の動きが高まっており、企業間での人材獲得競争は激しさを増しております。また建築資材価格の高止まりや、人件費増加により建築コストは上昇基調であり厳しい状況下にあります。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、実質賃金の低下や住宅価格の上昇により、住宅需要が低迷しており、国土交通省発表による2023年10月～2024年9月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比90.5%と減少し、分譲マンションが前年同期比99.9%と前年同期並みに推移し、住宅市場全体としては前年同期比95.7%と減少いたしました。商環境に関しましては、物価高騰により個人消費に停滞感はあるものの、インバウンド需要がコロナ禍以前を超える規模になってきているなど総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念に基づき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながら、2021年に新しく閣議決定されました「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

物価の上昇や人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、当社グループは協力業者網の充実を図り労働力確保に努めたことにより、着実に市場の需要を取り込み、売上高は伸長いたしました。一方で、材料費・外注費などの高騰による原価の増加や、管理職の増員・従業員の待遇改善・営業活動の強化などによる販売費及び一般管理費の増加の影響で、各段階利益は想定よりも減少いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は13,224,257千円（前年同期比107.4%）、営業利益は359,202千円（前年同期比79.4%）、経常利益は350,393千円（前年同期比79.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は137,956千円（前年同期比61.4%）となりました。なお、当社では過去の組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に192,223千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は542,617千円（前年同期比85.6%）、のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益は330,180千円（前年同期比79.2%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

#### ① リペアサービス

当連結会計年度におけるリペアサービスの連結売上高は4,381,193千円（前年同期比101.0%）となりました。

戸建向けリペアの売上高は、比較的高単価である案件割合は増加しておりますが、新設住宅着工戸数の減少の影響を受け、3,446,968千円（前年同期比98.0%）と前年同期並みで推移いたしました。集合住宅向けリペアの売上高は、労働力確保により市場需要を着実に取り込んだ結果、934,224千円（前年同期比113.6%）となりました。

#### ② 住環境向け建築サービス

当連結会計年度における住環境向け建築サービスの連結売上高は3,894,350千円（前年同期比112.3%）となりました。

定期点検の売上高は、契約単価が引き続き上昇傾向であることなどにより、1,569,815千円（前年同期比108.9%）となりました。小型修繕、各種施工、検査、コーティングの売上高は、集合住宅向けリペア同様、人員強化

により集合住宅の検査受注が増加した結果、2,010,380千円（前年同期比111.2%）と伸長いたしました。リコール対応の売上高は314,154千円（前年同期比144.0%）となりました。

### ③ 商環境向け建築サービス

当連結会計年度における商環境向け建築サービスの連結売上高は4,264,709千円（前年同期比110.4%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設などの内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境市場の需要堅調による店舗・商業施設、医療施設、オフィスなどの大型内装工事案件の増加により、増収となりました。

### ④ 商材販売

当連結会計年度における商材販売の売上高は684,004千円（前年同期比106.9%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス商材を販売しておりますが、堅調に推移いたしました。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

### (総資産)

当連結会計年度末における資産合計は6,134,261千円となり、前連結会計年度末に比べ90,967千円の減少となりました。

流動資産は3,675,954千円となり、前連結会計年度末に比べ13,664千円の増加となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が18,617千円増加したことなどによります。

固定資産は2,458,306千円となり、前連結会計年度末に比べ104,631千円の減少となりました。これは、主にのれんが192,223千円減少したこと、ソフトウェアが26,220千円減少したこと、投資有価証券が60,538千円増加したこと、繰延税金資産が21,304千円増加したことなどによります。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は3,334,643千円となり、前連結会計年度末に比べ184,498千円の減少となりました。

流動負債は2,959,043千円となり、前連結会計年度末に比べ176,563千円の増加となりました。これは、主に買掛金が59,990千円減少したこと、短期借入金が200,000千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が80,812千円減少したこと、賞与引当金が68,068千円増加したことなどによります。

固定負債は375,600千円となり、前連結会計年度末に比べ361,061千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が357,517千円減少したことなどによります。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,799,618千円となり、前連結会計年度末に比べ93,531千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が73,434千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は45.6%（前連結会計年度末比2.1ポイント上昇）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は1,616,316千円と、前連結会計年度末に比べ80千円の増加となりました。

当連結会計年度末における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、377,866千円（前年同期は595,460千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益350,393千円を計上したこと、のれん償却額192,223千円、法人税等の支払額199,405千円などによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、74,179千円（前年同期は41,215千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,638千円、無形固定資産の取得による支出9,379千円、投資有価証券の取得による支出49,922千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、303,606千円（前年同期は830,421千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増額200,000千円、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出738,329千円などによるものであります。

#### （4）今後の見通し

当社グループに関連の深い市場の次期（2025年9月期）見通しにつきましては、住環境市場は減少傾向で推移し、商環境市場は堅調に推移することを想定しております。このような状況の中で、当社グループは需要を十分に取り込めるよう引き続き自社技術者の採用活動と協力業者網の拡充に努め労働力を確保し、当社グループ過去最高の売上高を目指してまいります。

以上を踏まえた次期業績につきましては、売上高は13,900百万円（2024年9月期比105.1%）、営業利益は410百万円（2024年9月期比114.1%）、経常利益は405百万円（2024年9月期比115.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は170百万円（2024年9月期比123.2%）と見込んでおります。

また、中間業績の見通しにつきましては、受注した施工案件の完成・引渡時期により、当社グループの業績が大きく変動する可能性があることなどから開示しておりません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績などは様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,616,235	1,616,316
受取手形及び売掛金	1,726,066	1,744,684
商品及び製品	127,069	135,977
原材料及び貯蔵品	34,063	30,221
その他	163,274	152,849
貸倒引当金	△4,420	△4,093
流動資産合計	3,662,290	3,675,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,726	73,176
機械装置及び運搬具	9,700	17,247
工具、器具及び備品	89,015	90,084
リース資産	3,371	3,371
減価償却累計額	△112,962	△129,293
有形固定資産合計	60,852	54,586
無形固定資産		
のれん	2,114,460	1,922,237
ソフトウェア	110,605	84,385
その他	1,970	1,920
無形固定資産合計	2,227,037	2,008,543
投資その他の資産		
投資有価証券	45,962	106,500
敷金及び保証金	61,729	61,409
繰延税金資産	96,629	117,934
その他	74,632	111,884
貸倒引当金	△3,904	△2,552
投資その他の資産合計	275,048	395,176
固定資産合計	2,562,938	2,458,306
資産合計	6,225,228	6,134,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	450,573	390,582
短期借入金	300,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	709,996	629,184
リース債務	754	444
未払法人税等	113,727	149,967
未払消費税等	121,849	150,621
賞与引当金	122,735	190,803
未払費用	589,083	546,086
その他	373,760	401,353
流動負債合計	2,782,480	2,959,043
固定負債		
長期借入金	727,517	370,000
リース債務	444	-
その他	8,700	5,600
固定負債合計	736,661	375,600
負債合計	3,519,141	3,334,643
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,280,954	2,282,655
利益剰余金	637,069	710,503
自己株式	△773,724	△762,693
株主資本合計	2,706,086	2,792,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	7,365
その他の包括利益累計額合計	-	7,365
純資産合計	2,706,086	2,799,618
負債純資産合計	6,225,228	6,134,261



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,309,603	13,224,257
売上原価	7,868,598	8,532,670
売上総利益	4,441,005	4,691,587
販売費及び一般管理費		
役員報酬	136,890	139,080
給料手当及び賞与	1,704,787	1,846,045
賞与引当金繰入額	122,735	190,803
地代家賃	273,609	273,005
のれん償却額	192,223	192,223
その他	1,558,395	1,691,226
販売費及び一般管理費合計	3,988,640	4,332,384
営業利益	452,365	359,202
営業外収益		
受取利息	72	233
助成金収入	924	-
受取保険金	4,164	3,548
固定資産売却益	2,396	-
受取損害賠償金	1,000	1,000
その他	2,227	1,875
営業外収益合計	10,784	6,658
営業外費用		
支払利息	13,222	12,467
固定資産除却損	5,924	18
障害者雇用納付金	1,675	2,550
その他	665	431
営業外費用合計	21,487	15,467
経常利益	441,661	350,393
税金等調整前当期純利益	441,661	350,393
法人税、住民税及び事業税	218,970	236,992
法人税等調整額	△1,859	△24,555
法人税等合計	217,110	212,436
当期純利益	224,550	137,956
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	224,550	137,956

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	224,550	137,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	7,365
その他の包括利益合計	-	7,365
包括利益	224,550	145,322
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	224,550	145,322
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	561,787	2,281,887	467,596	△794,420	2,516,850
当期変動額					
剰余金の配当			△55,077		△55,077
自己株式の処分(譲渡制限付株式報酬)		△260		14,623	14,363
自己株式の処分(新株予約権の行使)		△672		6,072	5,400
親会社株主に帰属する当期純利益			224,550		224,550
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△932	169,473	20,695	189,236
当期末残高	561,787	2,280,954	637,069	△773,724	2,706,086

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	-	-	2,516,850
当期変動額			
剰余金の配当			△55,077
自己株式の処分(譲渡制限付株式報酬)			14,363
自己株式の処分(新株予約権の行使)			5,400
親会社株主に帰属する当期純利益			224,550
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-
当期変動額合計	-	-	189,236
当期末残高	-	-	2,706,086

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	561,787	2,280,954	637,069	△773,724	2,706,086
当期変動額					
剰余金の配当			△64,522		△64,522
自己株式の処分(譲渡制限付株式報酬)		1,700		11,030	12,731
自己株式の処分(新株予約権の行使)					-
親会社株主に帰属する当期純利益			137,956		137,956
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1,700	73,434	11,030	86,165
当期末残高	561,787	2,282,655	710,503	△762,693	2,792,252

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	-	-	2,706,086
当期変動額			
剰余金の配当			△64,522
自己株式の処分(譲渡制限付株式報酬)			12,731
自己株式の処分(新株予約権の行使)			-
親会社株主に帰属する当期純利益			137,956
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,365	7,365	7,365
当期変動額合計	7,365	7,365	93,531
当期末残高	7,365	7,365	2,799,618

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	441,661	350,393
減価償却費	61,246	61,694
のれん償却額	192,223	192,223
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,592	△1,678
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,880	68,068
受取利息及び受取配当金	△72	△233
支払利息	13,222	12,467
売上債権の増減額 (△は増加)	△170,404	△18,617
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,439	971
仕入債務の増減額 (△は減少)	119,393	△59,990
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,615	28,771
その他	187,713	△44,422
小計	839,689	589,649
利息及び配当金の受取額	72	233
利息の支払額	△13,029	△12,768
法人税等の還付額	1,839	157
法人税等の支払額	△233,110	△199,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	595,460	377,866
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,895	△12,638
有形固定資産の売却による収入	3,940	-
無形固定資産の取得による支出	△18,200	△9,379
投資有価証券の取得による支出	△3,954	△49,922
その他	△105	△2,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,215	△74,179
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△358,335	200,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△721,663	△738,329
リース債務の返済による支出	△745	△754
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,400	-
配当金の支払額	△55,077	△64,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△830,421	△303,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△276,176	80
現金及び現金同等物の期首残高	1,892,412	1,616,235
現金及び現金同等物の期末残高	1,616,235	1,616,316

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取損害賠償金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「その他」3,227千円は、「受取損害賠償金」1,000千円、「その他」2,227千円として組替えております。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

なお、従来、サービス別に分解した情報を「リペアサービス」、「住環境向け建築サービス」、「商環境向け建築サービス」、「商材販売」、「抗ウイルス抗菌サービス」に区分しておりましたが、当社グループの事業動向に合わせて、当連結会計年度より、以下の区分に変更しております。

この変更に伴い、前連結会計年度のサービス別に分解した情報も変更後の区分で記載しております。

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	4,338,797
住環境向け建築サービス	3,468,356
商環境向け建築サービス	3,862,558
商材販売	639,890
顧客との契約から生じる収益	12,309,603
その他の収益	—
外部顧客への売上高	12,309,603

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	4,381,193
住環境向け建築サービス	3,894,350
商環境向け建築サービス	4,264,709
商材販売	684,004
顧客との契約から生じる収益	13,224,257
その他の収益	—
外部顧客への売上高	13,224,257

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	293.98円	303.42円
1株当たり当期純利益	24.45円	14.96円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	24.37円	14.91円

(注) 1. 「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	224,550	137,956
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	224,550	137,956
普通株式の期中平均株式数(株)	9,185,869	9,218,680
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	27,193	33,975
(うち新株予約権(株))	(27,193)	(33,975)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	2,706,086	2,799,618
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,706,086	2,799,618
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,205,100	9,226,900

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。